

岐阜県羽島市

新興国での自動車中古部品販売・整備サービス 日本品質サービス提供で顧客拡大

同社は、「高品質な自動車保有関連サービスと資源の有効活用を世界に浸透させる」を事業理念として設立。自動車ユーザーやディーラーから購入した自動車を解体し、取出した中古部品を世界および日本国内に販売。UAEおよびマレーシアといった再輸出地点を経由する、日本発自動車用中古部品流通市場の変革を目指す。日本から最終消費地までの商品とサービスの直接提供を通じ、新興国における自動車保有サービスの質向上に取り組む。

●所在地	岐阜県羽島市正木町不破一色字西口 460番地	●設立	2013年
●電話/FAX	058-394-0051/058-394-0052	●資本金	3,000万円
●URL	http://www.saintparts.co.jp/	●従業員数	16人
●代表者	代表取締役 種谷 謙一		



需要獲得

サービス

日本クオリティの自動車関連サービスを、自社拠点で提供

これまで日本から新興国の取引先へ商品販売を行っていた業界において、ユーザーのいるタンザニアに自社の販売拠点を整備。駐在日本人スタッフを中心に販売を実施している。このことにより、ユーザーからの要望収集と商品クレーム対応が直接でき、きめ細やかなサービスが提供できる体制を構築した。日本人整備士のノウハウを活用した自動車整備事業や、日本発自動車関連製品（オイル・洗車機等）の販売・導入を通じて、日本ブランドの影響拡大に取り組んでいる。



セントパーツの事業

中古自動車輸出企業と連携し、顧客拡大と満足度向上

日本からタンザニアへ中古車輸出する企業は多いが、ほとんどが商社経由である。そこで、「JAPAN CAR SERVICE CENTER」という屋号の元、日系中古車輸出企業との提携を進め、中古車輸出企業の販売顧客に、直接、商品のOEM販売やアフターサービスを行うなど、日本車ユーザーの満足度向上に繋げる取組を行っている。日本では事業開始まで勤務経験や居住経験のない地域にて単独で事業を立ちあげ、5年で16名の地元スタッフの雇用を創出した。現在、海外で2名が駐在勤務している。



タンザニア拠点のスタッフ

タンザニアにおける自社拠点運営

右ハンドル国が多くを占める東アフリカ地域は日本の中古車中心の市場となるため、港町を有するタンザニアで事業を展開。2015年に部品販売を行う自社拠点を設置し、自社スタッフを配置して日本本社との連携を図った。将来的には、内陸部であるザンビア、マラウィ、ジンバブエへの事業展開を視野に入れている。タンザニアにおいては同様の展開を行う日系企業は存在せず、年々中古車輸入で自動車数が増加する同国において、大きな影響力のある企業となるための基礎作りを行っている。



タンザニアの自社拠点